

日本維新の会の藤田文武幹事長は2日、国会内で記者会見し、2025年開催の大阪・関西万博の関連工事に従事する建設労働者を残業規制の対象外とするよう日本国際博覧会協会が政府に要望したとされる問題をめぐり、「労働基準法の特例は私自身は、許容してもいいんじゃないかというスタンスだ」と述べ、規制の対象外とするように

## 残業規制除外は「許容範囲」

維新・藤田氏 万博建設で暴論

理解を示しました。

藤田氏は、過酷な労働で労働事故につながるようなことは避けなければならぬが、業者が働きやすい環境をつくってねじを巻いていくということとは、検討できる範囲だと指摘。「制度設計は大専だが、総論としては賛成だ」と強調しました。

同万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に逆行するよ

うな要望に、大阪府職員労働組合や日本労働弁護団は「労働者の命と健康を軽視するものだ」などとして批判の声をあげ、政府に拒否するよう求めていきます。

大阪府の吉村洋文知事も7月28日の記者会見でも「現時点ではルールの中で何ができるか考えるべきだ」と上限規制の除外に慎重な姿勢を示していました。